

贅殿下

After

Sacrifice
Prince After



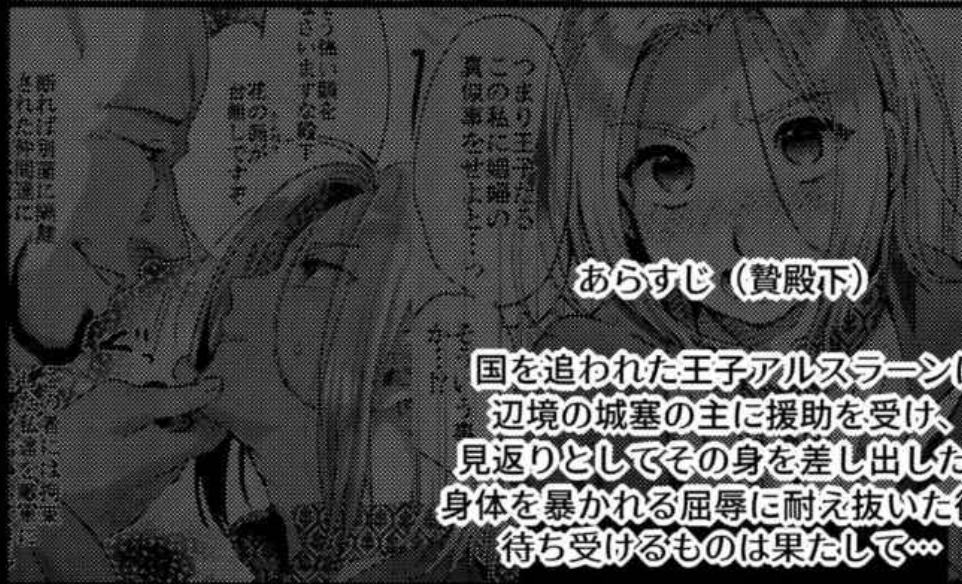
R18
Contents include

下殿贅
After



訪しなやかない
でそのう...

んん...なんと
強りのある
滑らかな肌触り...



あらすじ (贄殿下)

国を追われた王子アルスラーンは
辺境の城塞の主へ援助を受け、
見返りとしてその身を差し出した。
身体を暴かれる屈辱に耐え抜いた彼を
待ち受けるものは果たして...



国を救う為、仲間を救う為
今宵もまた 己を殺し身を捧げ続ける...



もう...
戻れなくなる...

アルスラーン殿下は
その身で貴族を
惑わし兵を募る

愚かで恥を
知らぬ淫蕩な
王子である！

そんな噂が

私が屈辱を受け
入れたあの日から

近隣諸国に渡り
まことしやかに
囁かれていた





…ああ
希少なもの
らしいな

しかも紫とは

諸候たちからの
殿下への贈り物の花は
薔薇ばかりですね



はあ…

折角綺麗な薔薇も
奴らの財力誇示の為の
道具だと思つと

切ないですね…



でも
殿下には
きつと

希少な薔薇よりも
こちらの方が
お似合いですよ



殿下

今朝摘んで
きたんです

素朴ですが
清廉で優しい
雰囲気か…

あ
よければ後で
殿下の寢室に
飾つて…





ここに集う
者達は皆

そう

王子という
死骸に集る

おや…彼が
例の……

ほう…
これは中々…

あの彼が
本当に…？

思いの外
幼いですな…

いや
まさか…

金蠅に過ぎ
ないのだから

だが…

うゝむ…

噂通り
美しい…





さあ殿下
皆様はその御身を
曝け出して下され

お待ちして
おりますたぞ

おお…っ!

大国の王子が
なんと淫らな
格好を…っ

そうですねお…

そのように破廉恥な
お姿を我々に
見せつけるなど…っ

一体何をお考え
なのですかな…!?

大衆の面前で
乳首を勃起
されるなど…

全く以って
けしからん…!

私とて…っ

王族としての自覚は
あるのです!?

我々に見られて
興奮なされて
おるのでしよう!

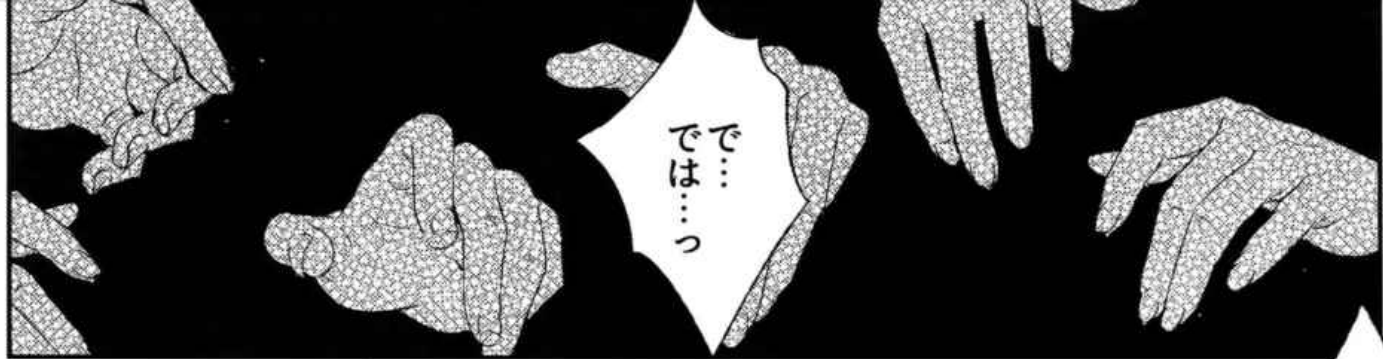
好き好んで
このような格好を
している訳では…っ

さて皆様…

今宵は殿下自身の
御意向で皆様に
ご挨拶をされたいと

これはその為の
催しで御座います

何…!?



で…
では…っ



まさか我々に
殿下の御身を
一晩中翳れと
申すのです…!!

この…桃色の
唇に吸い付いて…



乳首をこのように
弄り倒して…っ

あまつさえ
菊座に肉棒を突き刺し
体液を注げと…!!

ま…待て…
それは…っ!

あ…っ

しかしそのような
悪魔の如き所業
我々にはとても！

そう
ですぞお…

ほれ
こんなに
震えて…

殿下のこの細い
身体に皆で貪り
ついたら…っ

可哀想では
ないですか…っ！

儂とて…っ
好き放題に
腰を振って…

この一週間溜め込んだ
儂の濃厚金玉汁を
殿下に注ぐなど…っ

まともな神経では
出来んよ…っ♡

変態共…っ！

ううむ…
わたくしも誠に
心苦しいのですが

皆が一度は満足せねば
殿下の気が収まらぬと
仰せでしてなア…





いや、私は
そのような事
一言も……っ

殿下がそう仰られる
のでしたら仕方
ありませんなあ？

ほう！

ええ 大変
不意ですが



たっぷり…
じつくりと…♡



皆で殿下と親交を
深め合いましようぞ♡



こうされる事を期待していたのでしよう♡

そのような不埒な格好をなされて…っ

全く…殿下がでないのですねっ…♡

離せ…っ！

そんなわけ…っ



ほおれ…
もう少し
舌を出して…

お上手
お上手♡

んふら…
甘露ですのお…♡



ヒクヒクして
おりますぞお♡

すでに蕩けて
いやらしい
ですなあ…♡



んん…♡



皆も
ご照覧あれ♡

そおら♡

おほお♡

やっ
見るなっ…!

そんなに
物欲しそうに
されて…っ

なんと美しい
蕾だろう…!



ほれ見なされ!
殿下のせいで僕の
逸物がほれっ!

儂ももう
堪忍袋の緒が
切れそうですぞっ♡

そんな事
言われても…っ

んん…確かに皆が勃起しているのは殿下のせいなのですから…

ここは責任をとって

そろそろ種付け親睦会と洒落込みましょうか♡

では殿下っ早速わたくしからっ…!!

待てここは年長の儂が

いや私ももう我慢の限界で…っ

では栄えある最初のお相手は

まあ皆様そう焦らず…

一か月禁欲している彼にいたしましょう♡

お…っ大きすぎる…!!

は…

ビキッ

ビキッ

ヒキッ



不安がらず
とも大丈夫
ですぞ殿下♡

待てっ…今日は
挨拶だけで…
まぐわいは
ないと…っ

わたくしは
他の者と違い
紳士ですからな♡



こんな玉袋まで
パンパンな凶器で
犯されたら口では

グッ



じゅる...

優しく…っ

優しく種付け
しますゆえっ♡♡

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ





気持ち悪い……っ



くうっ
殿下の銀の御髪で
扱く背徳っ……♡

濃いのが
出そうだっ♡



ほれほれ
もつと腰を
振って♡

そのような甘ズリでは
儂の逸物は発散され
ませんぞお♡

観念なさって
射精しなされっ♡

射精など…
せぬ……っ

おぬしらこそ
さっさと……っ！



強情
ですなあ……♡



お時間が掛かると皆様お疲れになってしまいますからな

手っ取り早く自慰対決をしましょようぞ♡

もみ♡

まっ!!

かご

な...何を...

さすさす



そんなっ一緒に...

なんてえ...

はっ

だめだっ♡

こんなのっ... 反則...♡

かご

ひっ



射精すれば至上の
悦楽を享受できる
のですぞっ！

あああああ！

こんなの
卑怯だっ♡

腰が勝手に♡
嫌だっ♡

快楽に身を
委ねるのです！



こんな…
嫌…♡

この者達の手で
イきたくない…♡



奥つ...
奥まで一気に...

イクの...
止まらな...
♡

OK!

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ

おっおっ



この…っ
卑怯者…っ

おっと殿下

さっさと
抜け…!

ぬいもあ…♡



んふふ…♡

殿下も射精
されたのですから
嘘ではありませんせぬ♡

遠路遙々この為に
やってきたの
ですからな



ほれ
愛のまぐわいを
始めましょうな♡

最後の一滴まで
楽しんで
頂きますぞっ♡

こうなっ
てしまっ
のか…っ

結局…



んおお♡
男は初めてですが
流石ホテイルル卿の
調教っ♡

吸い付いて
きまずぞおっ♡



ええ
そうでしょう♡
毎晩わたくしと愛を
確かめ合っており
ますからな♡

昨晚も念入りに解し
ましたゆえ柔らかい
でしょう♡



全く殿下は
わたくしの逸物が
お気に入りですな

いつも中出しをおねだり
されるので腰振り
が止まらないですよ♡

なんと妬けますなあ♡
では殿下っ僕とも愛し
合いましょぞっ♡



淫乱王子めがっ♡
お綺麗な顔をして
吸い付きおってからに♡

このっ♡
このっ♡

詫ひにもっと
腰を振るのですっ♡

ほれほれっ♡
儂の形をしっかり
憶えるのですぞっ♡

こんなっ…
屈辱的なのに…っ

毎晩抱かれて
いるせいで

嫌でも快楽を拾って
しまっのが悔しい…っ

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ

オオオオオ
オオオオオ
オオオオオ



全く立派な思想を
お持ちだ

王たるもの
如何なる時も気丈で
あらねばです…

ん…？



たのむ…
もう…許して
くれ…っ

ん…？
お若いのですから
この程度でへばられ
てはいけませんなあ♡

殿下は王になられた
暁には奴隷制度の
廃止を掲げるつもり
なのでしょう？

いけない…
この井井で…♡



まあしかし
そんな事許し
ませんがねえっ！

何故なら殿下ッ
貴殿がまず我々専用の
高貴なる愛玩奴隷として

昼夜問わず愛でられる
のですからア！



おほっ♡
その腰使い大変
よろしいですぞっ



そのまま掻き回す
ように激しくっ♡



おお締まる
締まるっ♡

見事な腰振り
ですぞおっ♡

殿下も
感じておられる
のですなあ♡

儂も早くあの穴で
キツく抜かれて
射精したいものだっ♡

こんなのっ…
全然気持ちよく
なんかないっ…

断じて…っ♡
気持ちよへ
なんか…っ♡



うらむ誠に
果実を添えたく
なる美しさですの…

全くです…しかし
ここには酒の肴も
ありませぬゆえ



殿下の御体を更に
美しく彩る為にも
我々が一肌脱がねば…♡



ではお待ちかねの
愛の種付けとイキ
ますぞ殿下っ♡

我々の愛の結晶を
たっぷり放ちます
からなあっ♡



うむ♡一番奥に
たっぷり♡

かしこまり
ましたぞお♡

だめだっ…
どんどん激しく…っ

高貴な王子様の
尻穴でひと月ぶりの
種付け濃厚射精っ♡

そおら濃い
イクぞお♡イクッ♡
イクイクイクイク♡

いやだ♡
中出しは嫌だっ♡

汚いのが
また…っ♡

全身の穴という
穴からしっかり
種付けせねば…

ふんふん…

また…
シラカス…♡

ニクッ
ニクッ
ニクッ
ニクッ

クンクン

バババ

ハハハ

ハハハ

ハハハ

ヒッ

ヒッ

ヒッ



…殿下

これから暫くは
皆様と順に愛し
合せて頂きますぞ

遠方からお出で
皆溜まっており
ますからな

わたくしとの経験を
活かしてしっかりと
満足させるのです♡

ほれほれ
種汁で美しく
飾って差し上げ
ましょうな♡

お顔をよおく
見せてください♡



ほおそれ...



殿下つ
さあつ
お射精される
のですっ♡



そりっ♡そりっ♡そりっ♡
イけっ♡イけえっ♡



美しい
ですぞお

おおう
お見事ですなあ



こんなつ...
屈辱だ...っ



いくら突いても
きつく...っ♡

たまらんのお♡
このケツ穴っ♡

んっふう♡

はっはっはっはっ



おっ♡いかん
種がアガってき
ましたぞおっ♡



いっかんっ
いっかんぞおっ♡

いっかんぞおっ♡

シフウ~~~~~♡

うっかり今年一番の種付けをしてもうた♡

未恐ろしい身体ですぞ全く♡

おお お若いことで羨ましい限り

たっぷり出されてお辛いでしょう

次は僕の腹の中に出されたものを掻き出してさしあげますからな♡

うむうむ

すっかり出来上がっておりますなあ…

まるで夜露に煌めく薔薇の如き高貴さです…

おほおほ

めっちゃ…

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ

おほおほ





どうぞそのまま
王子としての役目を
全うして下さい……



それから数月

諸候の協力の下に
兵力を高めた
アルスラーン軍により

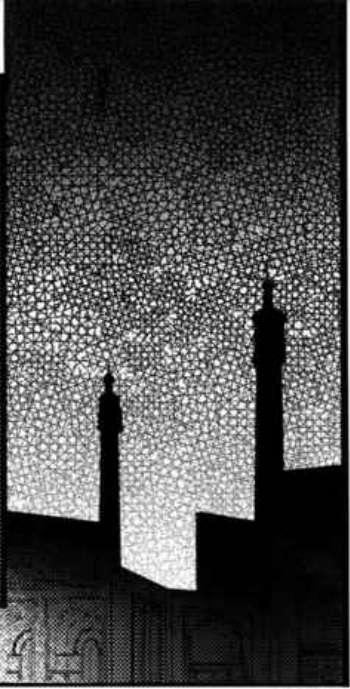
敵国ルシタニアは陥落
王都は無事奪還された

その最中

父アンドラゴラス王の戦死
母タハミーネ王妃の失踪により

若くして彼は正式に
王に即位する事になる

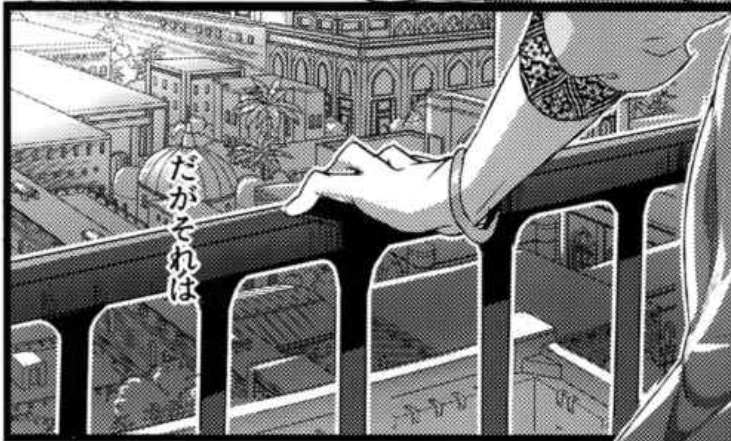
多くの謎を残したまま
戦乱は幕を閉じたのだ



私はこれから
より二層

国のために生き
国に心血を注ぎ

やがて国の礎として
死ぬだろう



だがそれは

諸侯の慰みもの
としても

父上の傀儡として
生かされるのとも

さして相違なく

此度もそう

民の安寧の
為の贄となる
だけなのだ

ただそれだけに
過ぎぬこと

…陛下
賓客が
お見えです

コンコン

わかった
準備する

…殿下にはきつと

希少な薔薇よりも
こちらの花の方が
お似合いですよ

素朴ですが
清廉で優しい
雰囲気か…

だが

あの頃であれば
まだ引き返せた
だろうか

私にはもう

「二王」としての
自身を受け入れる
他ないのだ…

アルスラーン15歳

遠い所から
よく来てくれた

私が

パルス王国
アルスラーンだ

今宵は

どうか
よろしく頼む

少年は そして王となった

あとがき

池咲ミサです。

前作賢殿下を買ってくださった方、そうでない方、
ここまでお読み頂きましてありがとうございます。
1年越しになりましたが今回（一応）続き物としてアフター本を出させて頂きました。
続き物という手を出しづらい方が多いかなと思いましたが
それでも読んでくださって誠に感謝です。

前作は当時できうる限りの力を出したつもりでしたが
今見直すとだいぶ作画が荒くて色々直したくて仕方がないです。
今回は2か月引きこもり1日線画1レベルでものすご〜く丁寧に書きましたので
更に目を楽しませる事が出来ているのではないかと思います。
(おじさん増量千ポも増量で死ぬほど苦労しましたんで…)

ていうか画面
すこい白くなって

お話に関しましては
前作同様雌墜ちせず更に凛々しく王としての自覚をもっといただく流れとなっております
おちんぼパーティではありますがむさくるしく穢れに満ちた種付け貴族おじさん達に囲まれ
蹂躪される事でよりよい尊みと気高さを感じて頂ければ幸いです。

また随所に花がでてきますがこれは以前のとおあるメディア雑誌の公式絵で
殿下と家臣が持っていたお花です。
少々無理をしつつ自ら気品あふれる紫の薔薇を持つ殿下と、
彼本来の姿であろう純朴なマーガレットを捧げる家臣、という風に捉えまして
これこそが殿下の精神の在りようだと感じ話に盛り込みました。

勝手に

アフターになってもバッドエンドチックですみません…。可哀想は可愛いんだ…
とはいえ前回に比べれば殿下ご自身の心境は
冷静になったぶん良い方向に向かっておりますので…たぶん…
やがて上に立つものとして男の扱いに段々慣れて尻穴で射精管理
できるぐらいの技術と余裕をもってもらえるとよいですね

ちなみに陛下になった殿下のロング三つ編みは公式絵のおふざけ企画参照です。

おっぱいはないです。わからないひとはわからなくてよいです。

美少年の三つ編みさいこ~~~~~

今作もまたおちんちん種付けワールド性癖外な方々にも
うっかり読んでええやん?となって頂き、
更に美少年ボディの美しさ和高貴なケツ穴に魅了されて頂けたら幸いです。

もしまた機会がありましたら何卒よろしこです〜
どうもありがとうございました

◆2017.8.13 初版

◆発行：黒ミサ会場/池咲ミサ

◆印刷：あかつき印刷

◆連絡：ikezakimisa@gmail.com

◆twitter:https://twitter.com/ikezakimisa

◆pixiv女性向け:https://www.pixiv.net/member.php?id=334249

◆pixiv男性向け:https://www.pixiv.net/member.php?id=7928116

The Heroic Legend Of Alslan
Fan Book

贄殿下
After

By: IkezakiMisa
2017 Summer

